ナンバリング	授業科目名(科目の英文名)	区分・【新主題】/（分野）	授業形式
E1421022	音楽鑑賞法Ⅰ (Method of Music Appreciation Ⅰ)		対面

必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	主に使用する言語	その他に使用する言語	担当形態
選択	2	3	教育学部 ≪令和２年度以降入学生用≫	前学期	木5	日本語		単独

担当教員	氏名　清水　慶彦 E-mail　shimizu-y@oita-u.ac.jp　内線　7388
授業の概要	中学校学習指導要領（音楽）に挙げられている鑑賞共通教材をおもな題材として、楽曲の様式や構造を聴取によって把握する方法を学ぶ。このことを通じて、音楽作品における「様式」の概念や、楽曲の構造ならびに形式についての理解を深める。

具体的な到達目標	DP等の対応(別表参照)	1	2	3	4	5	6	7
目標1	音楽作品の様式や特徴を、聴取によって把握し説明できる。	○						
目標2	鑑賞作品の構造や特徴を、記述ないし口頭での説明によって伝達できる。	○						
目標3								
目標4								
目標5								
目標6								
目標7								
目標8								
目標9								
目標10								
	各DPへの関連度（計10）	10						

授業の内容	
1	基礎的な概念の説明
2	さまざまな演奏形態（１）独奏をふくむ室内楽
3	さまざまな演奏形態（２）オーケストラの音楽
4	さまざまな演奏形態（３）我が国の伝統的な音楽
5	楽曲の構造と形式（１）ソナタ形式
6	平易な作品を例としたソナタ形式の聴取と理解
7	交響曲を例としたソナタ形式の聴取と理解（１）
8	交響曲を例としたソナタ形式の聴取と理解（２）
9	楽曲の構造と形式（２）フーガ
10	鍵盤作品を例としたフーガの聴取と理解（１）
11	鍵盤作品を例としたフーガの聴取と理解（２）
12	「雅楽」について
13	雅楽曲《越天楽》についての聴取と理解（１）
14	雅楽曲《越天楽》についての聴取と理解（２）
15	授業のまとめと小テスト

アクティブラーニング				
	A:知識の定着・確認	○	意見交換やリサーチの発表などを含む。	その他の工夫
	B:意見の表現・交換	○		
	C:応用志向			
	D:知識の活用・創造			

授業時間外学修の内容と想定時間		
	準備学修	鑑賞作品についての事前調査等（25h）。
	事後学修	鑑賞作品についての事後調査等（20h）。
	想定時間合計	

教科書	授業中に資料を配布する。
参考書	『中学校学習指導要領解説 音楽編』（平成29年７月 文部科学省）ISBN978-4-87788-811-4、『中学校の音楽』（１・２・３上下巻 教育芸術社ISBN978-4-87788-850-3、ISBN978-4-87788-851-0、ISBN978-4-87788-852-7）

成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
	授業中の課題など	60%	○	○								
	授業中の小試験，試験など	40%	○	○								
	授業中の課題，小試験，試験等により総合的に評価。											

注意事項	
備考	
リンク	
URL	